



もっと輝け北海道、厚別区
一人ひとりに確かな希望を！

どんな難しい状況でもあきらめることなく前進する花崎勝道議の活動が次々に実を結んでいます。真摯な姿勢で課題に向き合い、抜群の行動力でスピーディーに解決。「豊かな自然を守り、誰もが安心して暮らせる住みよい社会をつくります」と語る花崎道議は、道政との懸け橋として果敢に挑戦を続けています。

北海道議会議員

はなさき勝さん

はなさき勝事務所

〒004-0053 札幌市厚別区厚別中央3条5丁目8-20 電話011(890)7055 Fax 011(890)7066

LIBERAL & DEMOCRATIC 自由民主

発行所 自由民主党本部 郵便番号100-8910 東京都千代田区永田町1-11-23
電話 東京03(3581)6211(代表)〈毎週火曜日発行〉

(昭和30年6月15日第三種郵便物許可) 自由民主党ホームページ URL <http://www.jimin.jp/>

厚別区版

花崎 勝道議のプロフィール

昭和28年8月9日生まれ。札幌市豊平区美園小学校、陵陽中学校、北海高校を経て、株式会社ワコール入社。平成21年から衆議院議員町村信孝氏の組織局長として活動。平成23年道議会議員に初当選。1期目。現在、道議会議会運営委員、同保健福祉常任委員会理事、同少子・高齢社会対策特別委員会理事、自民党道連副幹事長、同総務会常任総務、同政務調査会副会長。

見て、聴いて、走って、応える！

輝かしい新年を皆さまとともに迎えられますことを心よりお慶び申し上げます。皆さまの絶大なお力添えのもと、道政に参画させていただいてから間もなく3年が経過します。無我夢中で走り続けてまいりましたが、これまで以上に気を引き締めて活動に励みたいと思います。

昨年は参院選での自民党大勝による衆参ねじれ解消、2020年東京五輪・パラリンピックの開催決定、富士山の世界文化遺産登録など、喜ばしい出来事が相次ぎました。民主党政権は3年かかってでも経済を再生できませんでしたが、安倍

政権は3本の矢を次々と放ち、1年後にはアベノミクス効果により株価や有効求人倍率などの経済指標を着実に改善しました。

しかし、北海道では中央との経済格差、人口減少、TPP問題、J-R北海道による不祥事などの課題が山積しています。安倍首相は13年度補正予算に5・5兆円規模の経済対策を盛り込み、景気回復に全力をあげる姿勢を打ち出しました。その効果を地域の皆さまに実感してもらえるように、私も頑張つてまいります。

高橋道政を支える道政与党の一員として、北海道と厚別区の発展のためにまい進する決意です。本年も変わらぬご指導を賜りますよう、よろしくお願ひ致します。

北海道議会議員 花崎勝

党道ブロック両院議員会と道議との懇談会を開催

道が道開発予算の確保など要望

自民党北海道ブロック両院議員会と道議会議員との懇談会が12月19日、党本部で開かれました。伊東良孝道連会長、高橋はるみ知事のあいさつ後、関博之国土交通省北海道局長から、同12日に閣議決定された2013年度補正予算案について説明がありました。

歳出規模5・5兆円の補正予算案には北海道開発予算926億円が盛り込まれ、13年度の当初予算4770億円と合わせた総額は5696億円となりました。

また、14年度予算で行う公共事業費を本年度に前倒しして契約する「ゼロ国債」は845億円(事業費ベースで、この5年間で最大規模になりました)。

その後、柴田達夫道総合政策部長による14年度の国の予算、施策に関する要望があり、開発予算等の総額確保やPPP交渉への万全な対応の必要性を強く訴えました。続いて、出席した国会議員から、開発予算、新幹線の整備、送電網の整備、PPP交渉、観光振興特別措置法、酪農畜産物価格等についての説明があり、活発な意見交換が行われました。



与党から工期の前倒しや、そのための国費増額を求める声が出ていた整備新幹線については、政府が12月19日、14年度当初予算案で、新函館(仮称)―札幌を含む5区間の建設予算を9年ぶりの増額となる720億円台とする方向で最終調整に入りました。当初予算額は2005年以降、706億円が続いていましたが、消費税増税で資材費などが上がることもあり、増額が必要と判断しました。

道政報告

道民の健康・安全・暮らしに関する 重要課題を花崎道議が厳しく追及

保健福祉委員会(11月5日)

1. 子宮頸がんワクチン 健康被害について

花崎道議 子宮頸がんワクチンが女子学生に任意接種として実施された13年3月までの1年半の間、道内では痛みやしびれなどの副反応は何件あったのか。

地域保健課長 17市町35件の報告があった。

花崎道議 国による救済制度を道民にどのように周知しているのか。

地域保健課長 ホームページへの掲載、リーフレットの配布のほか、市町村職員に救済制度への理解を深めてもらうため研修会への参加を促すなどの取り組みを行ってきた。

花崎道議 副作用についての相談にどう対応しているのか。

地域保健課長 保健師などが症状に応じて診療科を紹介するほか、健康被害の救済制度について説明し、市町村窓口に相談するよう助言を行っている。痛みやしびれが続く場合は、9月に札幌医大に設置された「痛みセンター」の受診を勧めている。

花崎道議 副反応発生状況について教育庁との情報共有が重要ではないか。
保健福祉部長 健康被害が生じた生徒に、学習面を含め、さまざまな面で適切に配慮する必要がある。副反応に関連

した情報を教育庁に提供し、対応を協議する場を設定し、生徒が安心して学校生活を遅れるよう取り組む。

2. 医療施設の 防火対策について

花崎道議 10月に福岡市内の有床診療所で、火災により入院患者8人を含む10人が死亡する事故が発生した。道内の医療施設における防火対策について、どのような取り組みを行ってきたか。

業務担当課長 道内には10月現在で病院は575施設、有床診療所は484施設ある。福岡市の事故を受け、消火、避難、通報体制を再点検するよう文書で注意喚起した。また、12月末までに有床診療所等に対する立ち入り指導を実施するよう道立保健所に指示した。

花崎道議 10月に有床診療所を対象に実施した調査の結果は。

業務担当課長 入院患者を受け入れている290施設のすべてに、誘導灯と消火器具が設置されていた。自動火災報知機の設置率は99.0%、非常用照明は97.6%、消防への自動通報設備は65.9%。消防計画を策定している施設は96%で、夜間体制は1人配置が48%、2人以上が52%だった。

花崎道議 今後この問題にどのように取り組んでいくのか。

保健福祉部長 国では今回の事故を受け、防火対策のあり方を検討している。こうした動向を注視しながら、必要に

応じてスプリンクラー等に対する財政措置を国に要望し、関係部局が連携を一層密にして防火体制のさらなる徹底に努める。

予算特別委員会(12月6日)

1. 小型家電リサイクルの 取り組みについて

花崎道議 携帯電話やCDプレーヤー、ゲーム機など、小型家電リサイクルについての道内の取り組み状況はどうか。

循環型社会推進課長 10月末時点で、道内79市町村で使用済み小型家電の回収を実施している。

花崎道議 100市町村が実施していないが、なぜか。

循環型社会推進課長 排出量が少ないというのが理由で、広域事務組合からは回収体制の整備が難しいとの回答が多かった。

花崎道議 今後どのように取り組みを進めるか。

環境局長 2013年4月の小型家電リサイクル法施行により、道内全域を対象に引き取りに应じる認定事業者が増え、市町村にとっても利用しやすくなる。市町村、リサイクル事業者などで構成する会議を本年度末をめどに立ち上げ、希少な資源として積極的に活用していく。

2. 北海道循環資源利用 促進協議会の 取り組みについて

花崎道議 協議会では、これまで火力発電所が排出する石炭灰の再利用に取

り組んできたが、現在のテーマは何か。
循環型社会推進課長 ホタテ貝殻の堆肥化、使用済み紙おむつの燃料化、生ごみ等の発酵分解による燃料化にワーキンググループを設置して研究に取り組んでいる。

花崎道議 紙おむつ燃料化の取り組み内容は。

循環型社会推進課長 使用済み紙おむつは水分を多く含むため、燃えにくい。しかし、燃え始めると一気に燃えるため焼却炉を傷める原因にもなり、焼却処理が難しい。同協議会では温風乾燥しながら破碎してペレット化し、ボイラー燃料としての活用を目指している。

花崎道議 今後どのように取り組んでいくか。

環境生活部長 紙おむつの処理は高齢化の進行に伴い、いずれの市町村でも顕在化する課題と認識している。市町村や研究機関、事業者等に対し広く情報提供を行い、循環資源の利用を推進していく。



会派の政策勉強会に出席し議会活動に反映

花崎道議が所属する「社会福祉議員連盟」が難病や障がい悩む患者・家族のための支援センターを視察



エネルギー調査会の研修会に参加